

第1回 昭島市男女共同参画推進委員会 議事要旨

〔日 時〕 平成24年3月22日（木）18:00～19:30

〔場 所〕 昭島市役所 3階 庁議室

〔出席者〕

1 委員

金野美奈子委員長、柴田邦臣副委員長、安済文幸委員、石井登志枝委員、加藤教子委員、樽松洋委員、原幸子委員、平野博典委員

2 事務局

北川市長、佐藤企画政策室長、宮川男女共同参画担当主査、多田企画調整担当主事

3 傍聴者 0名

〔配布資料〕

- ・第1回 男女共同参画推進委員会次第
- ・昭島市男女共同参画推進委員会要綱（資料①）
- ・昭島市男女共同参画推進委員会委員名簿（資料②）
- ・推進委員会 今後の予定（資料③）
- ・昭島市男女共同参画都市宣言
- ・「昭島市男女共同参画プラン」・概要版・ダイジェスト版
- ・第三期昭島市男女共同参画推進委員会 報告
- ・情報誌「Hi, あきしま」33号

〔議事要旨〕

1 市長挨拶

推進委員会の設置にあたり、男女共同参画の取組や委員への期待が述べられた。

2 委嘱状の交付

市長より各委員に委嘱状が交付された。

3 自己紹介

各委員及び事務局職員の紹介が行われた。

4 正副委員長の選出

委員の互選により、委員長に金野委員、副委員長に柴田委員が選出された。

5 推進委員会の運営について

事務局より、配布資料の確認と、会議の運営方針（原則公開、議事要旨の作成等）についての説明が行われた。

6 「昭島市男女共同参画プラン」について

事務局より、「昭島市男女共同参画プラン」により計画内容の説明が行われた。

《質疑応答》

- ◆このプランの内容は、「充実する」「支援する」「強化する」など曖昧な点が多く、実際に何をいつまでに実施するのかということがはっきりしない。プランの進捗状況をチェックするには、「数値化」あるいは「見える化」が必要であり、それがなければ評価のしようがないと考える。このプランよりもより具体的な計画というのはあるのか。また、例えば「充実」と言った時に、実際に何を実施するかという細かい定義ができているのか。【平野委員】
- それぞれの事業について、具体的にいつまでに何をやるという計画は持っておらず、実際の実施時期等については年度ごとの予算の中で決定されるものである。確かに評価にあたってはなかなか難しい部分もあるかと考えるが、委員の皆様にはできるだけ具体的な数値・資料をお示ししていきたいと考えている。また、例えば「充実」という事業を見ていただいたときに、この実施内容では充実とは言えないのではないかと、あるいはもっと別の方向性があるのではないかと、というようなところまで含めて評価をいただければと考える。計画の「見える化」の重要性は市としても認識しており、今回のプランでは目標指標も取り入れたところであるので、ご理解をいただきたい。【事務局】
- ◆これまで第三期推進委員会及びプラン審議会に参加してきたが、いつもその点がおかしいと指摘してきたところである。プランは10年計画だが、事業は年度ごとにしか決められないというのは、本当に実施できるのか分からず、市民としても困る。民間では経営状況や進捗状況の「見える化」は当たり前のことである。【平野委員】
- 10年計画はあくまでも政策の方向性を示す長期計画であり、この委員会ではその長期計画である男女共同参画プランの示す方向性に各課の施策が進んでいるかどうかを検証していただくことになる。実際の事業については予算が伴わないと実施できないものであるため、それは3年間の実施計画において策定することになる。この委員会は実施計画の検証を目的とするものではないが、そこで策定された男女共同参画に関連する事業については、適宜資料を出していくこととする。ただし、委員の皆様にはあくまでも長期的な視点の中でのご提言やご意見をいただきたいと考えている。【事務局】
- ◆実施計画があるなら、それをきちんと出してもらわないと評価できない。前回のプランでも全体の40%くらいの事業が最終的に未実施となっており、途中でやめるのは構わないのだが、やめたことがはっきり分かるようになっていなかった。【平野委員】
- ◆平野委員のご意見は、評価にあたっての大変貴重なご意見かと思うが、民間での「見える化」については、他の民間の委員の方にもご意見をいただければと考える。【柴田副委員長】
- ◆民間という立場から申し上げますと、平野委員のおっしゃるとおり、全て「見える化」という方向に進

んでおり、大変重要なことであると考えている。ただ、「見える化」をする時にデジタル的な評価だけではできないこともあり、その場合にどのような物差しで評価するかということについては、かなり議論が必要である。【安済委員】

◆確かに安済委員のおっしゃるとおり、きれいに切り分けられない問題はあると思う。その辺りが先ほどの事務局の説明にもあったのではないか。【柴田副委員長】

◆「数値化」と「見える化」は違うものである。「数値化」できないから「見える化」が必要だということである。【平野委員】

◆今、大変専門的なお話をされているが、私を含めて今日初めてこの会議に出席している委員にとっては、何が問題点なのかよく分からない状況である。今日はあまり専門的なことではなく、委員は何をするのかを説明してほしい。私はプランの推進をチェックする委員会と考えていたが、プランの内容についての議論をする委員会なのか。【樽松委員】

○現在プランは既にできているので、この委員会にお願いすることは、プランを推進していくために、掲げられた主要事業の進捗状況を確認することである。前回の推進委員会では、主要事業の実施について各課が回答した資料をお配りし、施策ごとに全体的に推進できたか、あるいは少し停滞してしまったのか、また停滞した場合にはどういう方向に持っていくべきか、などをご提言いただいていた。プランの内容というよりも、プランに記載された事業の進捗状況から、男女共同参画の推進具合を見ていただき、ご意見をいただきたい。【事務局】

◆前は、200以上ある事業の1つ1つについて各課が出してきた進捗状況を見て、どの程度推進できたのかをチェックし、本日配布された第三期推進委員会報告にまとめていた。その時に、目標や指標が示されていないと、推進できたのかどうなのか、判断できないということである。【平野委員】

◆それなら、次回その資料を出していただいて、それを見ながら具体的に議論した方が、初めての委員にとっては分かりやすいのではないか。【原委員】

◆その通りだが、これまで何度もこのことを指摘しているのに、はっきり示せる資料はないという事務局の返答が先ほどあった。それが問題だと私は申し上げている。【平野委員】

◆しかし、市の方でも前回と全く同じ資料を出してくる訳ではないのではないか。【原委員】

○後ほど、次第6の今後の予定のところでも申し上げるつもりだったが、どのように推進状況を確認していくのかというのは本日の議題ではなく、次回、資料も準備して委員の皆様にご相談させていただきたいと考えているものである。プランの内容ではなく、評価の方法や市民にどう伝えていくかを議論していきたいと考えている。【事務局】

◆プランの内容を変えてほしいと申し上げている訳ではなく、実施計画があるならその資料を出してほしいと申し上げている。【平野委員】

○実施計画は、市全体の主な事業に関する計画であり、男女共同参画に関する事業が全て網羅されている訳ではなく、そういう意味では男女共同参画プランに基づく統一的な実施計画というのは持ち合わせていないのが現状である。それがないと評価しようがないというのは一つのご意見として受け止めさせていただく。ただし、全ての事業について「数値化」することは難しく、できるものについては、プランの目標指標を定めたように明示していきたい。【事務局】

◆申し訳ないが、今までの議論にはついていけない。今日初めて男女共同参画プランを頂いた訳で、まだ中身も詳細には理解できていない状態で細かい議論をされても、我々は参加できない。よって、今

日は今後どのように進んでいくのかを教えてください、議論の詳細については今後考えていくように
お願いしたい。【安済委員】

○平野委員のご意見は非常に貴重なことであるので、また評価を進めていく中でお伺いできればと思う。

【事務局】

7 推進委員会の今後の予定について

事務局より、資料③により推進委員会の今後の予定についての説明が行われた。

《質疑応答》

◆今ご説明のあった、前回のプランにおける各課の事業実施状況をまとめた「進捗状況報告書」は、本
日配られているか。【加藤委員】

○配っていない。前回のプランに係るものなので、計画の体系や事業番号が今のプランとは異なるが、
ご参考までにとすることで後ほど委員の皆様にはメール送信させていただく。【事務局】

◆今後の会議予定だが、もう少し細かく分かるか。【樽松委員】

○できれば、通常は木曜日の夜6時半からの開催とさせていただきたい。ただし、5月に関しては25日
(金)を予定している。その先は、6月28日(木)、8月9日(木)の予定でお考えいただきたい。11
月には平成25年度予算の編成が本格化するため、その前に平成23年度の進捗状況を評価していただき、
いただいたご意見を予算編成の中で活かしていきたいと考えているので、ご協力をお願いしたい。ま
た、平成25年度の開催予定はまだ確定したものではないが、同様に10月頃までには評価を終え、その
後、総まとめということで2回ほど開催したいと考えている。【事務局】

8 その他

事務局からは特になし。

《質疑応答》

◆2つ提案させていただきたい。1つめは、次回の会議で事業の評価方法を議論する前に、事前に事務
局から資料が送られるので、委員の皆さんにはそれを読んでいただき、知りたい情報や資料について
事前に事務局に要望していただくようお願いしたい。その資料を見ながら議論した方が、生産的で
スムーズな議論ができると考える。【柴田副委員長】

◆初めての委員の方には少し大変ではないか。【平野委員】

◆確かにその通りで、経験のある委員の方が中心になるかもしれないが、何かお考えのある方は事前に
事務局に伝えて取りまとめてもらった上で、初めての方にも分かりやすいような資料を作ってもらえ
ればいいのではないかと。それにあたっては、いつまでに伝えればよいかなど、事務局でスケジュール
を調整してほしい。【柴田副委員長】

○了解した。【事務局】

◆2つめは、今日の議論はかなり掛け合いのようなものになってしまい、初めての方は戸惑われたと思
うので、発言する時は委員長の許可を得てから発言するようにお願いしたい。【柴田副委員長】

○では、先ほどお話のあった平成22年度の「進捗状況報告書」は後ほどメール送信させていただき、ま

た次回の会議の前に資料を送付させていただくので、2年間よろしくお願ひしたい。【事務局】

～閉会～